

サインバスケの つくりかた



特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会

ゼネラルマネージャー 須田将広

サインバスケのつくりかたの流れ



01

用語

常時探索

- ・ バスケ用語をサイン化
- ・ アメリカのサインをベースに、日本手話の特性を取り入れる(CL手法)



02

練習

現場探索

- ・ 練習で用いるサイン
- ・ 戦術に沿ったサイン
- ・ チームごとに異なる



03

試合

現場昇華

- ・ 短い時間でたくさんの情報を共有できるサイン
- ・ 読み取られない工夫
- ・ 片手でも使えるか
- ・ 方向づけは可能か
- ・ シンプルでユニークか



04

引継

共有公開

- ・ 繰り返し修正
- ・ 動画に収録・ナレージ
- ・ ホームページ、SNSで紹介



サインバスケで作る理想のチームとは

チーム一丸で目標を
目指すことができる

【目標】 声もサインも必要ない、
お互いが共通理解で動いている全員バスケ！

戦術・チームの約束ごと
(用語と練習、試合で使えるサインを現場で確認)





バスケット用語をサイン化



アメリカのサインバスケットを流用するか、日本手話の特徴を活かして作る

3

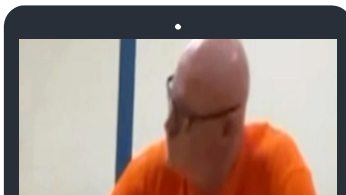
スクリーンアウト
(SCREEN OUT)

1

ピボット(PIVOT)

2

リバウンド(REBOUND)



いるのがわかるだろう
トの「サイン」だ



右手は、PIVOTの頭文字「P」を示して、それを回している



二本指を立てて折り曲げている

肩を動かすと視点がブレてドリブルも安定しない選手への指導例

- 両手で下図のような三角形を作り、頂点が額、底辺の両端が両肩を示す
- これだけで一発でイメージから入ることができ、表示時間の持続性も高い





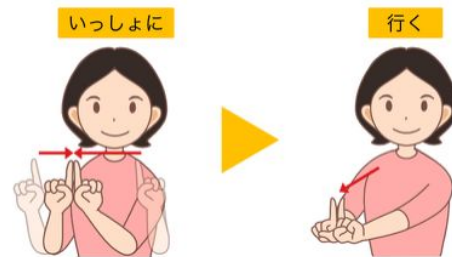
練習でサインを使うために



- チームでサインを使うためには何が必要か
 - 適切な言語もしくは方法で**周り**と**深い対話**ができること
 - 適切な言語もしくは方法で自分の意志を**周りに瞬時に伝えられる**こと
 - 視覚的に情報を読み取る技術(例:手話で話すときは顔と手を同時に見て判断)

- オープンスキルの中にサインをどう入れるのか

- 目で見て判断する材料に、「**手**」「**表情**」「**空間**」を加える
- 3次元(音声)から4次元(+空間)へ



「行く」の手話がわかりやすい
表現に変わっている



サインを使うための姿勢



- **トリプル・スレットとドリブル・スレットの連結**
 - トリプル・スレットはボールを両手で持ってしまう
 - ドリブル・スレットでシュート、パスをいつでも出せるようにする
- **パスは全てワンハンド(転がす意識から)**
 - 持ってしまうとバスケが止まる(ピボットしかない状況)
 - ワンハンドならパスフェイクも身につけやすい
- **肩を動かさない**
 - 肩がぶれると視野もぶれる
 - 両肩と眉間を3点で意識し柔らかく固定してドリブルすると、視野は確保しやすい



試合で使うサインの考え方(1)



- サインは片手で表現すべき(ボールを扱う手との役割分担)
- スクリーンプレイに対する対処法など、「Deafだから」ではのアイデア
- バasketボール競技の常識をひっくり返すアイデンティティ
- コーチと選手の間での共通認識を取る(もしくは取れたと確信する)方法

試合(現場)で、サインの実用性を高める



試合で使うサインの考え方(2)



- 単発で終わるサイン(特定の者へのサイン等)もあるが、それを目的もなる下手に繰り返すと混乱することになりかねない。
- 「あるサインがトリガとなり、チーム全体が連動していく」を目指す。
- 例として「強くて早い速攻は、良いスクリーンアウトから生まれる」というサインを作ることで、一瞬でチーム全員が共通理解できる

**これこそが、聴者にはない「デフのアイデンティティ」となるべきもので、
社会に応援してもらえるものに昇華すべきである。**



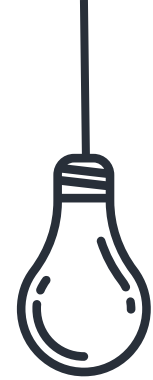
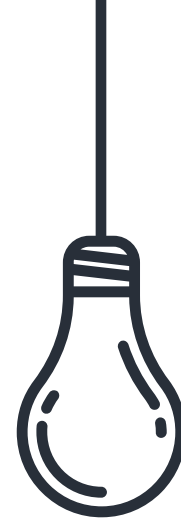
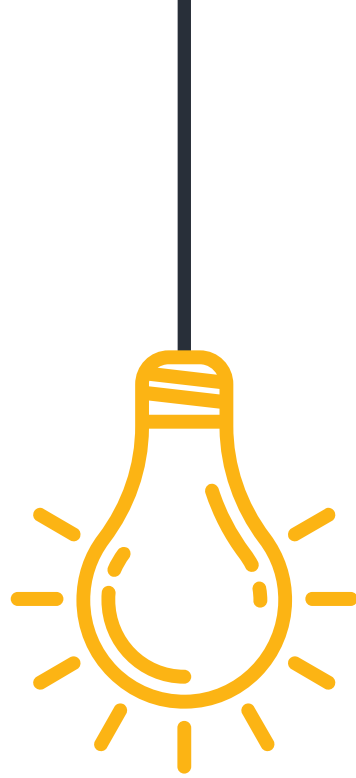
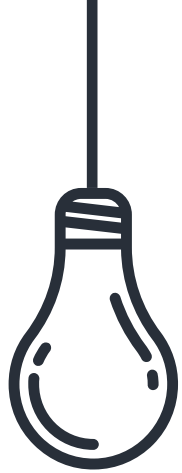
試合で使うサインの考え方(3)



適当にサインを作っても、中身がないスカスカの紛い物の戦術になってしまいます。

後に続きませんし、勝てませんし、なにより社会に応援してもらえません。

しっかり日本手話の特性を捉えつつ、ワンアクションで一瞬で全員が共通認識でき、最後まで連動できるものであるべきです。



サ

インバスケツトボール
を作るのに、どうして日
本手話がいいのか？

日本手話で視覚的な伝達速度を向上させる



サインバスケを構成する3つの表現手法

語彙

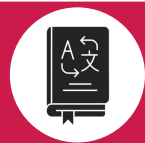


Classifier(CL)手法



ロールシフト

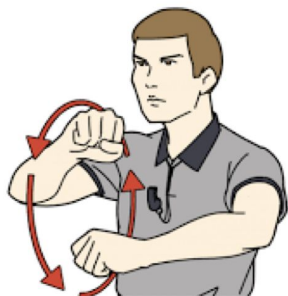




■ 一般的には、なにがしらの本に載っている唯一の言葉を指す

ここでは、一般のバスケットボール競技の用語を手話に変換したものを語彙であり、ファール、バイオレーションなどのジェスチャーも含む

➡ バスケットの知識がない人でもすぐにイメージが沸く表現手法をつくる



一般的なバスケットボール用語のジェスチャー例

知らない人が見ると「**なんで手をまわしているの？**」



● トラベリング

- バイオレーションとしてのジェスチャーは？
- サインバスケの表現方法の案

● ゼロステップ

- 日本語で説明すると？
- サインバスケの表現方法の案

注意！！

従来のジェスチャーを否定しているのではなく、バスケ素人のろう者ならではの表現方法として「こんな感じで表現するのもあり」と出してみました

Classifier(CL)手法

CL



■ 一羽、一房、一枚、一本、一台、一杯、一頭、一冊、一尾…

見て、すぐにイメージが沸く表現手法に、

形状、大小、軽重、強弱、材質などの特徴を写像的に表すこと

■ 指だけで表せる世界と「3つの目」

- ・あいさつの手話の形状
- ・「会う」と「追う」
- ・上から見る「鳥の目」

時間の迫った試合で、どう活かすのか？



人差し指の
方向に注目！

Classifier(CL)手法によるコート表現

CL

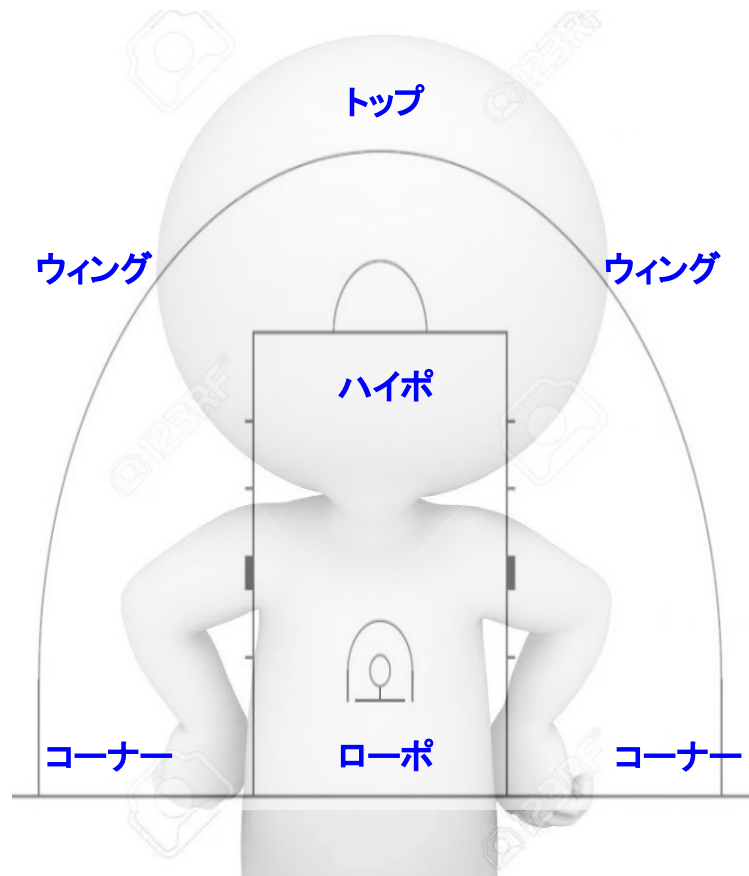


@nikoniko.maruchan

トップ

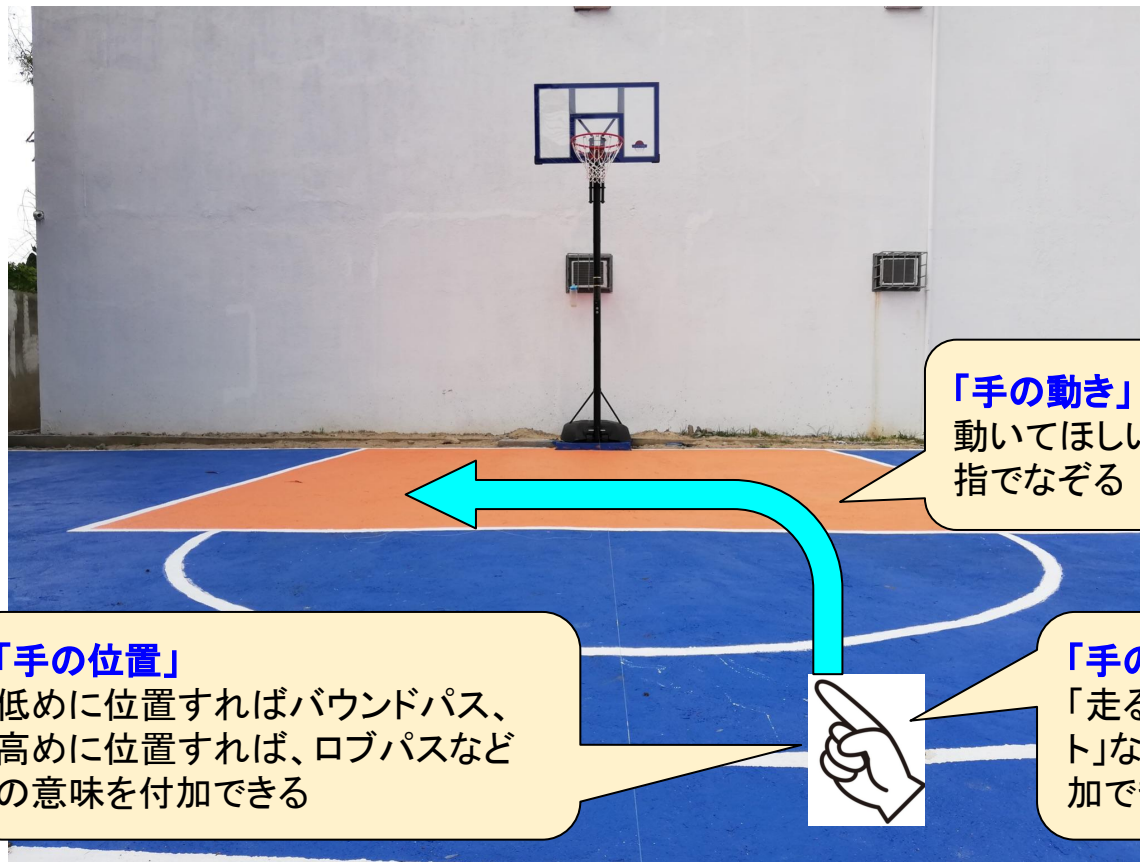


<https://youtu.be/pkaRJMLzjTo>



Classifier(CL)手法によるコート表現

CL



「手の動き」

動いてほしい軌跡を
指でなぞる

「手の位置」

低めに位置すればバウンドパス、
高めに位置すれば、ロブパスなど
の意味を付加できる

「手の型」

「走る」「パス」「カッ
ト」などの意味を付
加できる

■ 「自分」と「相手」と「第三者」の切り替わりを下のわざで表現する

- ・首(上下左右)
- ・表情
- ・動作
- ・オウム返し

【表現例】

アイス食べたい **子供**と**親**のやりとり
どう見えたかな？

■ 状況をはっきりすること、他者への切り替えの明確化

- ・今、どんな状況？
- ・今、だれがいるの？

探求中！

チームの戦術、チームの約束を踏まえたチーム練習で役に立つ

スクリーンプレー



この状況を、一人で
表現してください

サインバスケのブランディング戦略



様々なシーンのサインバスケを動画にして、広報ツールに仕上げていく
そのままナレッジ化につながるようにする



Instagram (SNS)

[sign_basketball](https://www.instagram.com/sign_basketball)

YouTube

<https://www.youtube.com/>

[@signbasketball](https://www.youtube.com/@signbasketball)

